



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



広島平和記念公園にて

門信徒会親睦研修旅行

平成二十七年九月三十日～十月二日
広島・山口方面



本願寺山口別院本堂にて

『今までの心をあらためようと言う人が「どんなことをまずあらためたらよろしいでしょうか」とお尋ねしたところ「悪い事はすべてあらためなさい、それも心の中をはっきりと表に出して、あらためるということではなければならない」と仰せになりました。』

(蓮如上人御一代記聞書より)

ストップワザ・終活



住職 本持 愚山

呆れて物が言えないとはこう言う事なのか。小生の憂いは増すばかりである。死に向かい準備するなど何たる事でしょう。確かに「やがて」が来る為にある程度の準備は必要です。そこで近年この問題が「終活ブーム」として世の中を渡り歩く姿に物申し、問題解決の参考になればの思いを伝えます。

本来それぞれの世界に誕生した時から全て死とは隣り合わせなのです。例えば生物が年齢を重ねれば「老い」と呼ばれ、植物は「枯れる」と言われ、鉄は「錆びる」。そして「やがて」が来る事の現象は全く同じなのです。しかも、その時が何時来るかは誰も知るところではありません。

こうして時間を止める事ができないと知る人間界に誕生させて頂く私達が「今」を生きる為に日々を送らず、何処へ向かうのですか。今こそ心新たに生き方を問うべきなのです。

そこで提案致します。まず「終活」をよみましょう。ご高齢の方々は商業ベースに乗せられてしまい、葬儀費用の不安が解消されていると思っ



写真は長照寺本堂・内陣

いと終活に励みますが、実態はその逆です。あえて申し上げればですが、生きる事そのものは迷惑をかけなければならないのです。死ぬ為の準備ができていないからと勘違いしている「あなた」誰の手も借りず、この世を去る事は不可能なのです。従いまして、今更かけたくなさくと思わずどんどんかけましょう。ただ感謝の念だけは持ちながら楽しく生き抜きましょうではありませんか。

このような思いと諸費が掛からない現実を可能にするのが皆様の菩提寺「長照寺」なのです。世の中の風潮や伝承されてきた悪しき慣例から解放され、楽しく生きる事のみを伝えていきます。どうぞご遠慮なさらず問題解決には何事もご相談下さい。お寺の「敷居」は低く、ほとんどありませんと自負しています。皆様と共に益々楽しいお寺を目指し歩んでまいります。

称名

門信徒会親睦研修旅行

平成二十七年九月三十日～十月二日

(広島・山口方面)



門信徒 本堂 博子

今回、住職のお誘いを受け、旅行に参加することとなりました。

何時もは、主人と一緒に参加ですが、今回初めて一人での参加となり不安がありました。今朝三島駅につくと、久方ぶりにお会いする懐かしい顔があり私の不安も一気になくなりました。

新幹線の中では、昔話に花が咲きあつという間に広島につきました。何時もは広島まで、長い長い時間なのです。なぜなら広島は主人の故郷なのです。(広島に来るのは嫁としてこなければなりません。)

お好み焼きの昼食を済ませた後、広島平和記念公園にて、原爆ドーム・資料館見学、戦後七十年の節目にこの地を訪れることが出来感慨深いものがありました。

その後、宮島に向かい厳島神社を参拝、潮が引いていたので、勝又さんと二人で多少濡れながらも大鳥居まで行くことが出来とても楽しかったです。(住職に笑われました。)また、夕食後宮島ナイトクルージングに行き、ライト

アップされた大鳥居、昼間とは又違いとても幻想的でした。まさか船に乗り大鳥居の下を往復出来るとは思ってもよらず大感激です。最高の思い出となりました。

二日目は大雨の中、錦帯橋に行きズボンまくり、傘を差し、滑りながらも皆で楽しみながら橋を渡りました。バスを走らせ『本願寺・山口別院』への参拝をさせて頂きました。

一段と雨が強まる中、山越えをしながら萩市内へと向かい、松下村塾・吉田松陰歴史館・萩

原爆ドーム



焼工房・萩博物館等を見学しながらホテルへと向かい、豪華な夕食を頂き楽しい宴会が始まり皆様、のど自慢には驚かされました。

三日目は、萩城



宮島・大鳥居にて



宴会風景



雨の錦帯橋にて

下町を散策、木戸孝允旧宅等を拝観・昔ながらの建築、数多くの萩焼工房を見学し三島とは違う落ち着いた風情があり心が洗われる思いでした。山口駅につき郷土料理・瓦そばを頂き、楽しかった旅行はあつという間でした。

今回主人と一緒に来られなかった事が残念ですが、皆様の暖かい心配りと共に楽しい旅行が出来た事を喜んでいきます。

最後に三日間心配りをして下さいました、住職始め、長照寺の皆様にご感謝申し上げます。

合掌

活動報告

平成二十七年下期

門信徒会親睦研修旅行

平成二十七年九月三十日～十月二日

…広島・山口方面

戦後七十年を迎えたことから、広島平和記念公園を訪ね、悲惨な戦争を再び繰り返し返してはならないという平和への決意を再確認しました。また、道中は厳島神社参拝および前NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台でもあります秋方面観光等盛りだくさんの研修旅行でした。

※写真は表紙・3ページ

第四十二回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十七年十月三十日

…三島ゴルフ倶楽部

- 優勝 近藤 勝信さん
- 準優勝 杉山 茂さん
- 第3位 三須 達男さん



恵みのお参り（七五三参り）

…長照寺本堂

「命の尊さ・命のつながり」を伝えていくお参りです。

平成二十七年十一月八日

中西真歩子（まほこ）ちゃん

平成二十七年十一月二十一日

大橋こあちゃん

大橋真凧（まな）ちゃん

※写真は8ページ

報恩講

平成二十七年十一月十五日

…一五〇余名

講師 毛利祥真師

浄土真宗の門信徒として最も大切なご法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきます。



境内清掃作業

平成二十七年十二月六日
…長照寺境内（一〇〇余名）

新しい年を迎える

にあたり、

感謝・感謝。



初参式

平成二十七年十二月二十日

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参りです。

平成二十七年十二月二十日

藤澤莉央（りの）ちゃん

平成二十八年三月二十日

園田修一郎（しゅういちろう）くん

※写真は8ページ

除夜会

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これからは少しずつ出していきましょう。



平成二十七年十二月三十一日
：長照寺本堂・梵鐘（百十余名）

修正会・新年会

心新たに出発。今年こそはと毎年思っている自分がいた。



平成二十八年一月四日
：四十名

ご正念報恩講

深々と冷える京都
ご本山（西本願寺）
参拝。身が引き締まりました。



平成二十八年一月十二日～十三日
：京都・西本願寺（本山）

東京教区仏教壮年会連盟研修会

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの強化団体です。



平成二十八年二月二十一～二十二日
：箱根

春季彼岸会法要

ご講師
本持 愚山 住職



平成二十八年三月二十日
：一四〇余名

つきじー泊（わんぱく）子ども会

仏様のおはなし・班対抗ゲーム大会・落語教室等々、盛りだくさんの内容を楽しんできました。



築地本願寺本堂にて



お勤めの風景

平成二十八年三月二十八～二十九日
：築地本願寺

※写真は6ページにも掲載

今後の活動予定

平成28年

4月3日(日)	祝入園・入学慶讃法要・ 釈尊降誕・花まつり	本堂
4月18日(月)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	愛鷹シックスハンドレッドクラブ
4月24日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランドボウルみしま
4月28日(木)	静岡東組組会・総代研修会	長照寺全館
5月8日(日)	門信徒会定期総会	本堂
7月24日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境内
7月27日～29日	お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会)	相模原市
8月13日～15日	合同盆法要(全8回)	本堂
9月22日(木・祝)	秋季彼岸会法要	本堂
10月5日～7日	伝灯奉告法要参拝 (門信徒会親睦研修旅行)	西本願寺(大阪・京都・奈良)方面
10月9日(日)	寺報(第36号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。)



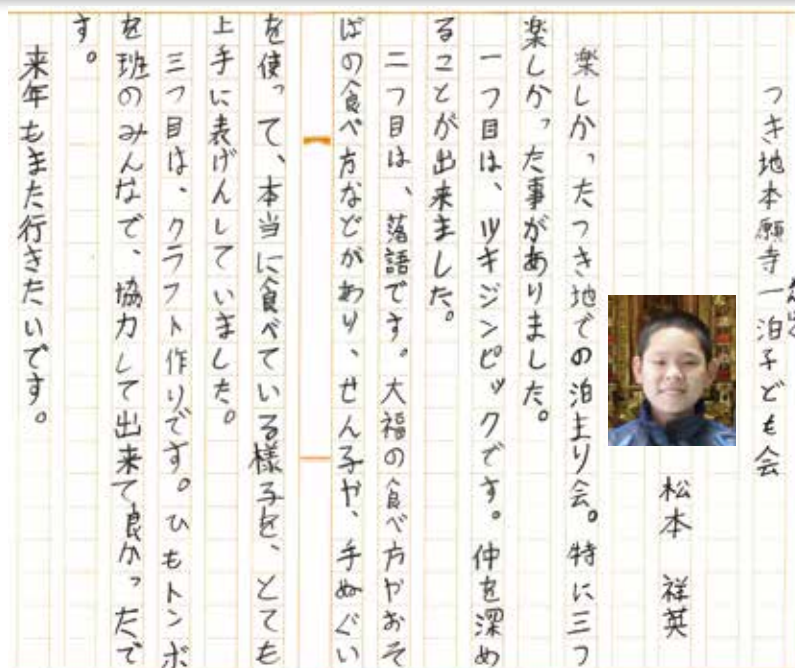
築地本願寺にて



落語教室



ツキジンピック



つきじ一泊(わんぱく)子ども会 (東京教区少年連盟主催)



今こそ、本堂で葬儀を

京都・常楽寺住職 今小路 覚真

ネット業者や大手小売業者のイオンなどが葬祭事業に参入し、特にお坊さんへのお布施額を明記していることに注目が注がれています。

業者側の一貫した言い分は、「葬儀費用やお布施の透明化」です。確かにお布施は、宗教者と葬儀の施主との個人間の事柄で、金額に置き換えると、不明な、理不尽なことがお互いにあることです。

宗教者側から言えば、お布施とは必ず決まった金額が約束されているものでない、ということであり、施主側から言えば、お布施に見あうだけの見返りが期待できるのだろうか、ということです。

一方、葬儀費用ということは、業者との関わりで、宗教者は傍観者の立場になります。

ではなぜ、現在、人生の最終通過儀礼である葬儀で、経費の問題や、僧侶の資質の問題が取り上げられるようになったのでしょうか。

そもそも葬儀がお寺の本堂から遠ざかってしまったのは、お寺自体が会館を持ち始めたことに目をつけた業者が、よりサービスの行き届いた「○○会館」「○○ホール」を建て、地域の囲い込みを行ったことです。

お布施に対して不透明感を持たれたことは、僧侶と門信徒個人との肌を接した交流が薄れてしまっていることが挙げられます。

お寺の本堂は希な例外を除いて、門信徒の浄財によって建てられたものです。

しかも、その内陣の様子は、浄土真宗の寺院では、お浄土の荘厳になっています。

普段のままでも、他に付け足すものは何もいらぬのです。葬儀会館でなく、本堂で葬儀を行えば、荘厳壇（祭壇）は unnecessary のです。つまり会館使用の大半の経費が削減できるはずで

す。門信徒の皆さんが建てられた本堂です。何の遠慮もありません。荘厳壇がなくても、お浄土が目の前に開けているのです。

お寺の本堂を有効に使いましょう。

そうしてお寺との交流が深まっていけば、住職の生活実体もつかめてきます。おのずからお布施の基準も、自らの判断で決めることができます。

お寺に足を運んでください。多くのことが見えてきます。



長照寺本堂にての葬儀風景

恵みのお参り（七五三参り）



平成 27 年 11 月 8 日
中西 真歩子（まほこ）ちゃん



平成 27 年 11 月 21 日
大橋 こあ ちゃん
大橋 真凧（まな）君

初 参 式



平成 27 年 12 月 20 日
藤澤 莉央（りの）ちゃん
平成 27 年 9 月 8 日生まれ



平成 28 年 3 月 20 日
園田 修一郎（しゅういちろう）くん
平成 27 年 11 月 20 日生まれ

編 集 後 記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成28年10月9日(日)発行予定です。
- ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人＝長島・菊沢・斎藤・園田

おめでとうございます

長照寺門信徒の皆様が、各分野での功績が認められ、昨年受賞されましたことをご報告させていただきます。

川真田 裕（かわまた ゆたか）さん
旭日双光章（春の叙勲）
平成 27 年 4 月 29 日

増島 工匠（ますじま たくみ）さん
県知事表彰（災害防除）
平成 27 年 10 月 24 日